たすけあい　まなびあい　つくりあげる玉津の子

出　会　い　の　森

玉津小学校便り　No.11
（令和４年２月３日発行）
玉津小学校　検　索
※ホームページもぜひご覧ください。

自分は何ができるか　～６年生自主活動学級閉講式～

校長　坂元　裕則

１月２１日（金）に６年生児童が地域総合センターで行われた自主活動学級閉講式に参加しました。今年度も昨年度に引き続きコロナ禍の影響を受け、年間１１回の開催ではありましたが、閉講式での子どもたちの素晴らしい発表を見て、一人ひとりが多くのことに気づき、どのようにすればよいのか、自分は何ができるのかと考える貴重な体験ができたように感じました。そして、何よりも子どもたちの心の変化や成長が見られたことがとても嬉しかったです。９つのグループが発表した内容の一部を紹介します。

●開講式　この活動は、“出会い・ふれあい・気づきを養う”ことをねらいとしている。開講式では“バースデーチェーン”を通して、緊張の中にも人との交流や友だちとの距離が縮まり、絆を深めることができた。人との関係をさらに増やしていきたい。

●人権コンサート　目の不自由な坂井さん夫婦の素敵な笛の演奏を聴き、交流をした。目の不自由な方とどのように接すればよいのかを学ぶことができた。そして、人とのつながりの大切さを感じた。これからはどんなに小さなつながりも大切にしていきたい。

●国際理解交流　チョンマルソンさんから韓国文化や戦争、差別の話を聞き、伝える大切さを知った。あたりまえのことがあたりまえでなかったことに気づき、今ある自分たちのあたりまえことに感謝し、大切にしたい。

●仲間づくり　ゲームや話し合いを通して、仲間とのより良い関係づくりを学んだ。うわさや間違った情報に対して、事実であるかをきちんと見極める力をつけたい。また、多面鏡の話では自分の知らない良いところをもっと見つけていきたいと感じた。

●大切ないのち　“命って大切だよ。精一杯生きよう”講師の齊藤さんの言葉が印象的だ。２億分の１で生まれる奇跡。自分の命、他人の命をさらに大切にしたいと思った。

●手話教室（Yokko さんから学ぶ）　手話との出会いと夢をあきらめないことや気持ちを伝えることの大切さを学んだ。玉津小の先輩たちと合作した曲「虹」を手話で交えて全員で歌った。

●手話教室（えがおさんから学ぶ）　耳の不自由な方の話を聞き、困ることも多いが、工夫を多くすることでできることを学び、簡単な手話、ジェスチャー、指文字などを使いながら、理解を深めることができた。これからも忘れずに活かしていきたい。

●手話教室（聴導犬との出会い）　聴導犬（ポッキー）の仕事ぶりについて学んだ。目覚まし時計の音を飼い主に伝えるなど耳の不自由な方へのサポートをする大切なつながりを知ることができた。

●まとめ　この自主活動学級で大切なことをたくさん学んだ。これからも活かし続け、大人になっても困った人を応援し、助けたい。

子どもたちがこの自主活動学級で学んだ「気づき、考え、実践」がこれからも活かされ続け、自分も周りの人々も幸せにする人生を歩んでほしいと願っています。

講師の先生方、地域総合センターの皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さまに心より感謝申しあげます。

学校診断アンケート結果から　　【 回収率　86.3%（170 人／197 人)】

12 月に学校診断アンケートを実施いたしました。新型コロナウイルの影響により本年度も教育活動が従来通りに進められないことが多く、判断に迷いながら回答いただいたことと思います。保護者の皆様、学校評議員の皆様、ご協力誠にありがとうございました。

【平均点は、よくあてはまる：５点、あてはまる：４点、あまりあてはまらない：２点、あてはまらない：１点、として計算】

No	診　断　内　容	Ｒ３	Ｒ２	No	診　断　内　容	R3	Ｒ２
1	子どもたちは、学校へ行くことを楽しみにしている。	**4.37**	4.46	12	学校は､命の大切さやいじめや差別を許さない人権を尊重する態度を育てようとしている。	**4.27**	4.22
2	子どもたちは、進んであいさつができている。	**3.62**	3.63	13	学校は、道徳規範等、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	**4.2**	4.22
3	子どもは、やさしい言葉づかいができている。	**3.55**	3.67	14	学校は、子どものことをよく理解し、適切に指導している。	**4.2**	4.24
4	子どもたちは、学習や行事を通し意欲的に学ぶ力を伸ばしている。	**4.24**	4.2	15	学校は､子どもの安全が守られるよう努力している。	**4.37**	4.32
5	子どもたちは、学習や行事を通し、異学年の友だちとも仲良く活動することを学んでいる。	**4.29**	※	16	学校は､子どものことについて家庭に連絡したり、相談に応じたりしている。	**4.33**	4.28
6	子どもたちは学習や行事を通し、自分に自信を持ち、主体的に活動できる力を身につけている。	**4.14**	4.17	17	学校や子どもの様子を懇談会、学校便り、学年・学級通信、ホームページ等でよく知ることができる。	**4.31**	4.28
7	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	**4.07**	4.06	18	通知表は､子どもの生活や学習状況を分かりやすく伝えるよう工夫されている。	**4.11**	4.01
8	学校は、玉津の特色を生かした教育を展開している。	**4.32**	4.33	19	学校は、保護者、地域の人と話をする機会や授業参観を適切に設けている。	**4.38**	4.29
9	学校は、一人ひとりの子どもを大切にし、子どもの個性を尊重している。	**4.13**	4.13	20	保護者は､ＰＴＡ活動や授業参観に積極的に参加している。	**4.02**	4.22
10	学校は、子どもに分かりやすく楽しい授業を工夫し、子どもたちの学力向上に努めている。	**4.32**	4.3	21	学校は､子どもたちの豊かな心を育む読書活動(読み聞かせ、朝の読書タイムなど)を推進している。	**4.31**	4.17
11	学校は、１０分間運動などに力を入れ、子どもたちの体力作りに努めている。	**4.27**	※	22	学校は､新型コロナウイルス感染拡大防止に対応しながら教育活動を進めている。	**4.5**	4.34

（※は、評価の依頼を取りやめた項目）

「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」をめざし、日々学校生活を楽しいものにできるよう努力していますが、コロナ禍が続き、従来通りの行事や学習、活動が本年度も制限されています。しかし、項目１については、昨年より評価の数値は下がっているものの子どもたちが学校へ行くことを楽しみにしていると感じてくださっています。友だちと出会うこと、友だちと学習すること、活動することを保護者や地域の皆様に励ましていただき、見守っていただいていることがわかります。

また、項目 21 の「読書活動」は、毎学期の「生活見直し週間」の取組において、ご家庭から「定着が難しい」というコメントをいただくことが多く、引き続きの課題と捉えていますが、ひばり文庫さんや語り部さんのお話や読み聞かせ、保護者の方々の読書への意欲付け、などから少しずつ本に興味をもちはじめていると感じられます。項目２の「挨拶」については、次年度以降も課題です。子どもたちが進んで挨拶をし、保護者や地域の方に自分から関わっていこうとする気持ちを育てていきたいと考えます。

皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かしていけるよう、現在校内で協議を重ねているところです。今後とも、ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。